

## 食の幸発信推進事業に関する対応について

食の幸発信推進事業の基本方針

### 『Ⅰ. 農業振興』、『Ⅱ. 食関連産業の強化』、『Ⅲ. 交流人口の拡大』

上記の基本方針について、以下のソフト事業等により今後、取り組めます。

## I. 農業振興

### 1. 産直振興の取組方針

雲南市の産直は出荷者の高齢化や市場分析・マーケティング不足等により販売額が減少傾向になっています。このことから、地域農業の再構築に向け令和3年度から令和5年度の3年間で山村振興活性化対策事業（国100%）を活用し、(1)生産拡大と生産支援の取組（生産振興）、(2)販売強化と販路拡大の取組（出口対策）について、現状把握を行い課題解決に向け取り組みます。

併せて、既存店舗などを活用した地産地消に加え、阪急オアシスの店舗拡大を含めた地産都商による販売額増に向け取り組みます。

### 2. 年次計画

事業名		STEP1 地域経済の「好循環」を生み出す将来像づくり					STEP2 課題解決の実践と面的な連携推進		STEP3 ブランディングと商品開発力の強化	
		R3年度					R4年度		R5年度	
項目	具体的実施内容	11月	12月	1月	2月	3月	上期	下期	上期	下期
現状把握 課題抽出	①各産直ヒアリング アンケート	●	→	→	→	→				
	②商圏調査			●	→	→				
	③出荷者等ヒアリング 意見交換会の実施			●	→	→				
	④地域資源の再発掘			●	→	→				
	⑤運営計画立案の方向性			●	→	→				
	⑥次年度以降の課題提起			●	→	→				
生産振興	①人材の獲得と育成						●	→	→	→
	②既存生産者支援						●	→	→	→
	③農産物出荷支援						●	→	→	→
	④農産加工品出荷支援								●	→
	⑤物流等の支援						●	→	→	→
	⑥新たな特産品開発の支援						●	→	→	→
販売振興	①既存直売所の施設・運営の活性化						●	→	→	→
	②うんなん食の幸応援隊（仲間）づくり							●	→	→
	③市内集客イベント・観光との連携								●	→
	④市内店舗等との連携								●	→
	⑤都商の販路拡大				●	→	→	→	→	→

### 3. 取組内容

#### (1) 生産拡大と生産支援の取組(生産振興)

##### ①人材の獲得と育成

○既存会員からの紹介制度の導入による新規会員獲得並びに休眠会員へのアプローチ

既存会員が周りの農業者に直売所への出荷を促す、顔見知りや作付の様子を把握している生産者が直接勧誘する取組を推進します。併せて、出荷されていない既存会員に対し出荷再開のアプローチを行います。

○研修農園の設置並びに段階別栽培研修会の実施

現行の栽培講習会をより実践的な内容となるよう、研修農園の新規設置について令和4年度より検討を行い、生産者の経験年数や技術レベル、栽培面積、生産量等の段階に応じた研修の実施を目指します。

また菜園講座は、これまで新規会員の獲得を目的として初心者を対象に開催してきましたが、回数を重ね専門性が高まったことにより、初心者にとって難易度の高い内容になっていたため、令和4年度より産直出荷者を対象に販売額の向上を目的とした講座を新設し、初心者向け菜園講座と2本立てで実施します。

##### ②既存生産者支援

○産直用ハウス整備支援による周年供給体制の強化

(事業名) 園芸振興補助金【R4当初(継続) : 農政課】

(内容) 冬場の野菜出荷や時期をずらした出荷を目指した産直及び学校給食用野菜等のハウス整備支援

補助率 1/2~2/3・市単補助上限額 300 千円、県単補助上限額なし

##### ③農産物出荷支援

○出荷システム見直し・改修

出荷者と直売所で情報共有できる仕組みについて、令和4年度より検討を始めます。

併せて、現行の販売情報は出荷者が取得(音声ガイダンスまたはインターネットへアクセス)する方法ですが、省力化に向けJAから販売情報を適時発信する仕組みについても検討します。

##### ④農産加工品出荷支援

食品衛生法の改正により、営業許可制度の見直しとHACCPに基づいた衛生管理が必要となります。

○HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の実施に向けた学習と指導體制の整備

関係機関(島根県東部農林水産振興センター雲南事務所、雲南保健所、JAしまね雲南地区本部)と協議の上で指導體制を整備すると共に、令和4年度中に農産加工品出荷者をリスト化し、事業種ごとに、講習会等の開催を通じた出荷者への啓発、支援を継続していきます。

○営業許可制度の見直しによる「漬物」や「梅干」等の加工施設の整備支援

(事業名) スモール・ビジネス育成支援事業補助金【R4当初(新規) : 農政課】

(内容) 市内農業法人が実施する農産加工施設改修事業に対し、県補助金を活用し支援

補助率 1/2・補助上限額 5,000 千円

小規模事業者（個人を含む）には、令和4年度早い段階で今後の希望を個別に伺い、支援策を検討し、やる気のある農産加工品出荷には、令和5年度に支援を実施する。

## ⑤物流等の支援

○きめ細やかな集荷・運送体制による物流最適化

（事業名）産直物流改革実証事業【R4当初（新規）：農政課】

（内容）産直事業における収益性向上に向けた取組として、モデル的に集荷システムの構築やコスト低減に係る実証・検証を行います

○商品化の受託機能の整備による生産者の負担軽減

産直販売では、生産者が栽培した農産物を自ら商品として包装し、出荷から販売後の引き取りまで行うなど農産物生産以外の作業負担があります。調整作業が負担になり出荷できない生産者や商品づくりが苦手な生産者に対して、共同施設でのパッケージング機能を設け、生産者は農産物の生産に徹することで生産拡大を図ることができないか、令和4年度より検討を始めます。

## ⑥新たな特産品開発の支援

○地域農産物等を活用した新商品の開発支援

既存の食関連プロジェクト等との連携により、雲南地域の農畜産物を使用した新たな商品開発に関する関係者との協議を令和4年度より着手します。

## （2）販売強化と販路拡大の取組（出口対策）

### ①既存直売所の施設・運営の活性化

○消費者に喜ばれる売り場づくりのための研修の実施

○産直共通ブランドの構築（直売所内の行動、什器類、装飾等の視覚の統一）

上記取組を直売所で一体的に進めるため、店舗間の連携強化・情報共有等について、令和4年度より検討に着手します。

### ②うんなん食の幸応援隊（仲間）づくり

○地域が支える直売所とのつながりの見える化

全国各地で展開されているSNS等を活用した生産者と消費者の交流の場づくりなどの事例（しもマル・Net：山口県下関市）を参考に、市内産農産物の応援消費を促していく仕組みが導入できないか、令和4年度より検討に着手します。

### ③市内集客イベント・観光との連携

○消費者に向けたPRイベントの実施

雲南地域の食の魅力PRイベントの定期開催に向けた検討を令和4年度より始めます。

### ④市内飲食店等との連携

○市内飲食店・宿泊施設での利用拡大

今年度、奥出雲町が実施した町内飲食店等での産直野菜の利用事業を参考に、産直野菜の市内

消費拡大に向けた事業の実施に向け、令和4年度より検討に着手します。

#### ⑤都商の販路拡大

##### ○県内都市部のスーパー等への出店強化

近年市街地への直売所の立地が進む傾向を踏まえ、既に出店済みの松江市に続き、出雲市への新規出店に向けた検討を令和4年度より始めます。

##### ○山陽エリアへの販路開拓

令和3年度より広島県内でプレミアムつや姫「たたら焔米」のCMを放映し、販売を強化しています。都商の新たな販路先として山陽方面を位置付け、ブランド米と併せて売り込んでいけな  
いか、令和4年度より検討を始めます。

また、「よってごしな菜（道の駅たたらば壱番地内）」を山陽方面の玄関口として、販売・情報発信を引き続き強化します。

##### ○阪急オアシスの販売再開と拡大

阪急オアシスでの販売は、令和4年1月下旬より中間業者を経由した新たな仕組みにより試験的に再開しています。令和4年度中に安定運営できるよう取組を継続します。

#### 4. 取組体制

前述した取組などについて専門的に取り組む産直事業に精通した人材を令和4年度より市に1名配置するとともに、山村振興活性化対策事業の実施主体である雲南市農林産物販売促進協議会（構成：雲南市・JAしまね雲南地区本部・合同会社グリーンパワーうんなん）を中心に他団体と協力し、各取組に応じたプロジェクトチームを組織し取り組みます。

## II. 食関連産業の強化

### （1）市内食品加工に関する支援

（事業名）地域農産物高付加価値化推進事業【R4当初（新規）：商工振興課】

（内 容）地域農産物を活用した新商品等を製造するために必要な設備等を支援する補助金（地域農産物を加工する施設等のHACCP対応を含む）。

補助上限額：300万円、補助率2/3

## III. 交流人口の拡大

### （1）道の駅等への集客対策

（事業名）道の駅等活性化ビジョン検討業務【R4当初（新規）：観光振興課】

（内 容）雲南市観光振興計画に基づき、市内に4つある道の駅の魅力化による集客向上策など活性化策を検討します。

## IV. その他

### （1）事業用地の一部を道の駅臨時駐車場として借地し活用【R4当初（新規）：産業施設課】